



®環境省

エコアクション21

認証番号 0008638

# 環境経営レポート

【令和5年度版】令和5年7月1日～令和6年6月30日



株式会社 室伏組

(発行日:令和6年12月18日)

# 目 次

1. 環境経営方針 … P2
2. 組織の概要 … P3～P4
3. 環境経営目標 … P5
4. 環境経営計画 … P6～P7
5. 環境経営計画の取組結果と評価、  
未達成事項の是正処置次年度の取組内容 … P8～P13
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果  
並びに違反、訴訟等の有無 … P14～P15
7. 代表者による全体評価と見直し・指示 … P16



# 1. 環境経営方針

## <行動指針>

株式会社室伏組は、造成工事、河川工事、道路改良工事、治山工事等の土木工事を通じ地域及び環境への影響を考慮し、企業としての社会的責任を果たす為にエコアクション 21 のシステムを導入し、環境活動を展開します。

更に、地域社会と協調し環境にやさしい経営を進めると共に、安心・安全な工事に取り組み、地域社会に貢献する企業をめざし従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでいきます。

## <環境経営方針>

- 1). 省資源・省エネ活動を推進し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 2). 廃棄物排出量の削減とリサイクル活動の推進に取り組みます。
- 3). 節水に努めます。
- 4). グリーン購入の推進を行います。
- 5). 環境に関する法規制及び協定を遵守し、環境に配慮した工事を実施いたします。
- 6). 地域との連携を密にし、地域に迷惑をかけない安心・安全な工事を行います。
- 7). 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び活動経営計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営システムを継続的に改善致します。

制定日 平成 23 年 11 月 30 日

改訂日 平成 31 年 1 月 12 日



株式会社 室 伏 組  
代表取締役 室伏 良太

## 2. 組織の概要

- 1) 事業所名及び代表者氏名  
株式会社 室伏組  
代表取締役 室伏 良太
- 2) 所在地  
本社:静岡県駿東郡小山町菅沼 976 番地の 48  
作業所:静岡県駿東郡小山町藤曲 729 番地の 1
- 3) 環境管理責任者氏名および担当者連絡先  
環境管理責任者 室伏 良太  
担当者 中山 千恵・室伏 妙子  
連絡先 本社 TEL:0550-76-0461 FAX:0550-76-4913  
E-mail:[murofusi-gumi@ny.tokai.or.jp](mailto:murofusi-gumi@ny.tokai.or.jp)
- 4) 設立年月日  
昭和 57 年 7 月 1 日
- 5) 資本金  
20,000,000 円
- 6) 役員等  
代表取締役 室伏 良太
- 7) 事業活動の内容  
【特定建設業】  
許可番号 静岡県知事許可(特-4)第 7771 号  
有効期間 令和 4 年 6 月 5 日～令和 9 年 6 月 4 日  
建設業の種類 土木工事業  
土木・とび土工 工事業  
舗装工事業

### 8) 事業の規模

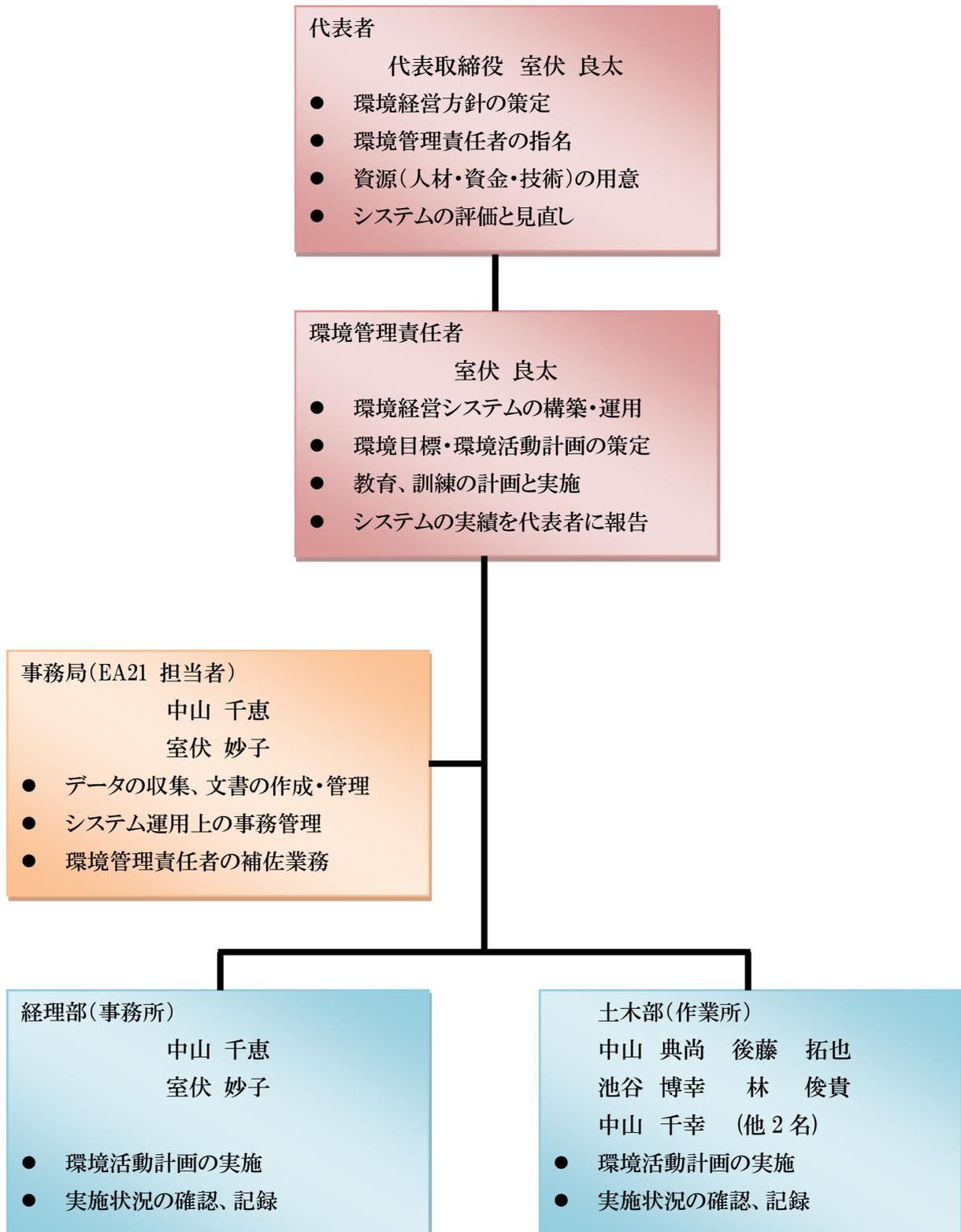
	単位	R3年度	R4年度	R5年度
売上高	百万円	572	339	593
従業員数	人	15	15	14
延べ床面積	m <sup>2</sup>	263.94	263.94	263.94

### 9) 事業所所在地の位置付け

- (1) 都市計画法での用途地域指定
- (2) 静岡県生活環境の保全等に関する条例 等での環境関連規制の地域指定
  - ◆ 騒音規制 第 2 種区域
  - ◆ 振動規制 第 1 種区域の 2
  - ◆ 悪臭規制
  - ◆ 地下水採水規制
  - ◆ 水質規制 小山町下水道(鮎沢川水域)
  - ◆ 大気規制

## 10) 実施体制

※対象範囲(全組織・全活動対象)



## 環境経営目標

環境方針に基づき、令和2年度を基準に環境目標を設定し行動します。

- 1). CO<sub>2</sub> 排出量の削減 CO<sub>2</sub> 総排出量は令和5年度までに 3%削減  
 事務所系は、令和5年度までに 3%削減  
 重機の燃費は、平均 5ℓ/hr 以下の維持・燃費管理・実績の把握
- 2). 廃棄物排出量の削減 一般廃棄物は排出量が少ない為、維持と把握  
 積極的な 3R(リデュース・リユース・リサイクル)への取り組み  
 混合廃棄物は、工事内容で変わる為、削減を心がけ分別と実績の把握  
 建設副産物(コンクリート殻アスコン殻木くず)は 100%の為、現状維持
- 3). 水使用量削減事務所系は、節水に努め 60 m<sup>3</sup>以下を維持と実績の把握
- 4). グリーン購入の推進 事務所系は現状維持  
 建設機械更新時は環境配慮型へ切り替え
- 5). 地域に迷惑をかけない 苦情件数“零”  
 安心安全な工事

### 中期環境目標

環境目標項目	単位	ベンチマーク	環境目標値			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
CO <sub>2</sub> 総排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	73,024	72,294	71,564	70,833	
CO <sub>2</sub> 排出量削減 (事務所)	kg-CO <sub>2</sub>	6,915	6,846	6,708	6,708	
(事務所・購入量)	kwh	1,987	1,967	1,947	1,927	
(事務所・車両平均燃費)	km/ℓ	13.42	維持・管理			
CO <sub>2</sub> 排出量削減 (現場/重機の燃費)	ℓ/hr	3.51	平均 5ℓ/hr 以下維持・管理・実績の把握			
一般廃棄物排出量削減	kg	184	維持・実績の把握			
産廃(混合廃棄物)	t	15.6	分別と実績の把握			
産廃(建設副産物)	%	100	リサイクル率 100%			
水使用量削減	m <sup>3</sup>	40	60 m <sup>3</sup> 以下を維持・実績の把握			
グリーン購入の推進	—	100%	現状維持			
	—	100%	建設機械更新時は環境配慮型へ切り換え			
安全安心な工事	件	苦情「零」	苦情「零」			

※現場の二酸化炭素削減目標は工事の内容で大きく変わる為燃費管理も実施

※二酸化炭素排出係数・・0.445 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (東京電力エナジーパートナー/令和元年度実績調整後排出係数)

※事務所総排出量は、電力、ガソリン・灯油

※事務所におけるグリーン購入はほぼ達成できている。

## 4. 環境経営計画

取組状況記載説明 (○:取組んでいる/△:さらなる取組が必要/×取組んでいない)

責任者・社長

取組内容・取組目標		担当者	R5 /7	8	9	10	11	12	R6 /1	2	3	4	5	6	評価	次年度
二酸化炭素排出の削減																
《購入電気の削減》																
事務所	不在時、休憩時、昼休みの消灯	全員	[Progress bar: 100%]												○	継続
	節電標語の掲示	事務所	[Progress bar: 100%]												○	継続
	エアコンの設定温度(冷房 28℃暖房 22℃)	担当者	[Progress bar: 50%]												○	継続
	エアコンフィルターの清掃	担当者	[Progress bar: 50%]												○	継続
	事務所照明器具 LED 化	社長	完了													
化石燃料の削減・燃費の向上																
事務所 & 現場	エコドライブの推進	全員	[Progress bar: 100%]												○	継続
	エコドライブ推進標語の掲示		[Progress bar: 100%]												○	継続
	石油ストーブの設定温度(15℃以下)		[Progress bar: 50%]												○	継続
	車両、重機のアイドリングストップの励行		[Progress bar: 100%]												△	継続
	近場の用事に車を使わない		[Progress bar: 100%]												○	継続
	共同運行推進。相乗り推奨		[Progress bar: 100%]												○	継続
	車両燃費管理の開始・実施		[Progress bar: 100%]												○	継続
	タイヤ空気圧の定期点検		[Progress bar: 100%]												○	継続
現場	建設機械等の自主点検	現場	[Progress bar: 100%]												○	継続
	建設機械の燃費管理	担当者	[Progress bar: 100%]												○	継続
	建設機械の鍵の管理の徹底	現場	[Progress bar: 100%]												○	継続

廃棄物排出量の削減・リサイクル率の向上											
	コピー済み用紙のメモ用紙への転用	全員								○	継続
	コピー済み用紙の再利用									○	継続
	パソコンのプレビューチェックによる印刷ミスの防止									○	継続
	使用済みインク・テプラカートリッジの回収・リサイクル	担当者								○	継続
	資材・廃棄物等、種類毎の置場の区別と表示	全員								○	継続
	スキャナー等使用によるペーパーレス	全員								○	継続
	現場	資材の整理整頓の徹底	全員								○
建設廃材の分別の推進									△	継続	
仮設材等で再使用可能なものの使用の推進									○	継続	
水使用量の削減											
事務所	こまめに蛇口を閉める	全員								○	継続
現場	節水標語の掲示	担当者								○	継続
グリーン購入の推進											
事務所	購入資源等の認定品の有無の確認	全員								○	継続
現場	環境配慮型の建設機械の切替え	社長								○	継続
安全安心な工事の推進											
現場	安全訓練の実施	全員	各現場 毎月1回								継続
	工事に伴う騒音・振動防止の推進									○	継続
	工事中の安全安心の確保									○	継続
	創意工夫の提案									○	継続
	熱中症対策・AED・救急箱・消火器等点検	担当者								○	継続
全員	新型コロナ・インフルエンザ感染予防と対策	全員								○	継続
	アルコールチェック及び記録の実施と保存	担当者								○	継続

※取組状況記載説明（○:取組んでいる/△:さらなる取組が必要/×取組んでいない）

## 5. 環境経営計画の取組結果と評価

### 令和5年度環境経営目標と実績・評価

環境経営目標項目	単位	ベンチマーク	環境目標値		
		R2年度	R5年度 目標	R5年度 実績	評価
CO <sub>2</sub> 総排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	73,024	70,833	115,975.74	×
CO <sub>2</sub> 排出量削減 (事務所・総排出量)	kg-CO <sub>2</sub>	6,915	6,708	7,576	×
(事務所・電力購入量)	kwh	1,987	1,927	2,358	×
(事務所・車両平均燃費)	km/ℓ	17.96	維持・管理	15.23	○
CO <sub>2</sub> 排出量削減 (現場・重機の燃費)	ℓ/hr	3.51	平均 5ℓ/hr 以下 維持・把握	3.76	○
一般廃棄物排出量削減	kg	184	維持・把握	107.72	○
産廃(混合廃棄物)	t	15.6	分別・把握	8.32	○
産廃(建設副産物)	%	100	100	100	○
水使用量削減	m <sup>3</sup>	40	60 m <sup>3</sup> 以下を維持	39	○
グリーン購入の推進	—	維持	維持	維持	○
	—	—	建設機械更新時は環境配慮型へ切り換え		
安全安心な工事	件	苦情「零」	苦情「零」	苦情「零」	○

※現場の二酸化炭素削減目標は工事の内容で大きく変わる為燃費管理も実施

※事務所総排出量は、電力、ガソリン、灯油、ガス

※二酸化炭素排出係数・**0.445 kg-CO<sub>2</sub>/kwh**(東京電力エネルギーパートナー令和元年度実績調整後排出係数)

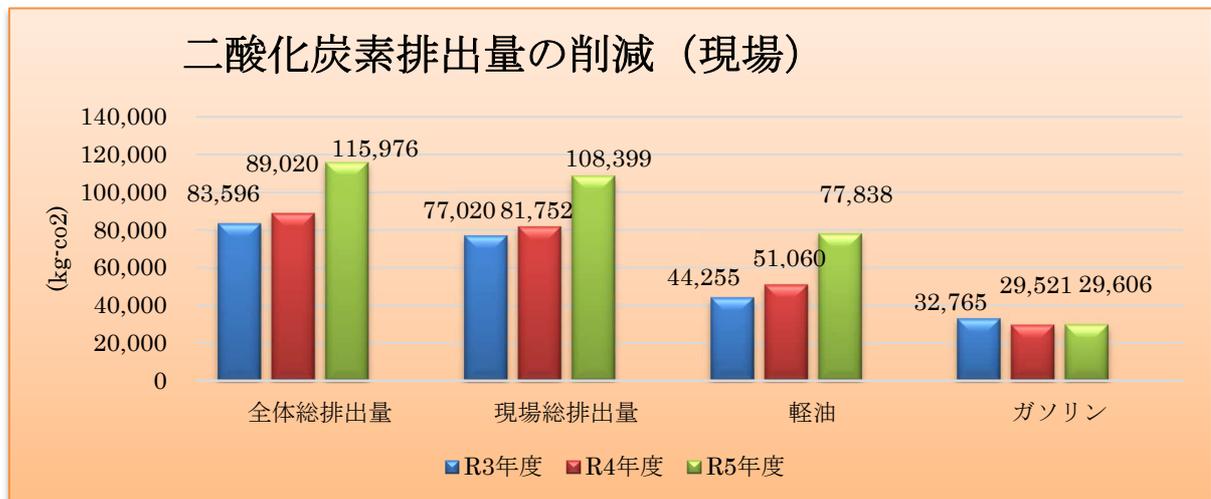
### 目標未達成事項の原因と是正

目標未達成事項	原因と是正
CO <sub>2</sub> 総排出量削減	今年度、工事件数の増加に伴う重機の使用頻度の増加、大規模な田地造成工事による大型重機の使用が多く、軽油使用量、平均燃費ともに増加した。引き続きアイドリングストップの徹底等、啓発活動(環境活動計画)を続ける。
事務所CO <sub>2</sub> 排出量	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏のエアコンと、冬の石油ファンヒーターの使用の増加が電力及び、灯油使用量の増加要因と考える。温度設定の厳守、クールビズ、ウォームビズをし電力削減を目指す。</li> <li>ガソリン使用量は今期1台、事務所車両から現場車両に変更した為と考える。引き続きエコドライブを心がける。</li> </ul>

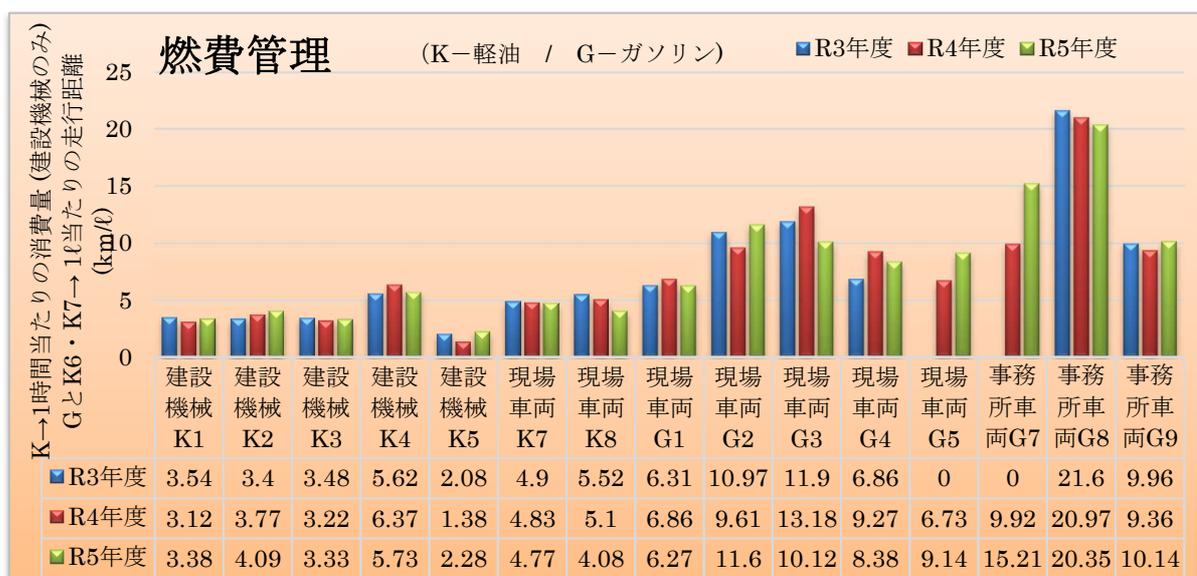
## 5-1. 取組状況とその評価



全体的に増加した。



重機の使用が多く、軽油使用量が大幅に増加した。



建設機械の1時間当たりの消費量が減少でき、現場車両の平均燃費も向上した。

## 二酸化炭素排出量の削減



## 廃棄物の削減



## 安心安全な工事の推進

### 社内パトロール・避難訓練の実施



## 現場環境



## 地域貢献

カーブミラー清掃



林道整備



## 5-2. 取組結果と評価・次年度の取組内容

	取組結果と評価	次年度の取組内容
CO <sub>2</sub> 総排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に達することができなかった。工事件数の増加や大規模な田地造成工事において大型重機の使用頻度が多かった事が軽油使用量の増加要因と考える。</li> <li>・重機の平均燃費(l/h)は少し増加したが、大型重機(燃費グラフ K4)の燃費が減少したことが大きな成果だった。</li> <li>・現場車両の平均燃費は昨年と同様だった</li> </ul>	継続的に取り組む
事務所 CO <sub>2</sub> 排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年以上の夏場の猛暑と長引く残暑、冬場の厳寒により冷暖房の使用頻度が多かったことが大きな要因と考える。エアコン温度設定の厳守、扇風機との併用、クールビズ、ウォームビズをし、購入電気の削減を目指す。</li> <li>・ガソリン使用量、平均燃費は増加したが、今期1台現場車両に変更した為と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温度設定、エコ運転等、継続的に取り組む</li> </ul>
一般廃棄物排出量削減	廃棄物削減に努め、現状維持できた。	継続
産業廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設副産物(コン殻・アスファルト殻・木くず)のリサイクル率は100%を維持できた。</li> <li>・混合廃棄物は昨年度より減少した。引き続き分別に努める。</li> </ul>	リサイクル率100%の維持  削減と分別に努め、現状把握をする。
水使用量削減	節水に努め、現状維持できた	継続
グリーン購入の推進	エコマーク商品を優先し、購入できた。 建設機械購入時は、環境配慮型を優先する。	継続 継続
安全安心な工事の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部農林事務所・優良工事部門において、表彰を受けた。</li> <li>・発注者、地域関係者との綿密な打ち合わせ。</li> <li>・創意工夫の提案。</li> <li>・安全訓練、避難訓練、教育訓練、社内安全パトロールの実施。</li> <li>・地域貢献事業への参加や現場周辺の清掃。</li> <li>・現場に女性専用トイレを導入。</li> <li>・AED3台購入。</li> <li>・苦情等は無かった。</li> </ul>	継続

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況

評価日:令和6年7月6日 評価者:環境管理責任者

規 制 内 容		遵法評価
労働安全衛生法		
職場環境・作業環境の確保		○
健康診断の実施(年1回実施)		○
廃棄物処理法 (静岡県産業廃棄物の適正処理に関する条例・小山町廃棄物処理及び清掃に関する条例)		
事業者の債務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正処理 (委託した場合でも適正な処理がおこなわれるまで責任を持つ)</li> <li>・排出量の抑制</li> <li>・国及び地方公共団体の施策への協力(適正に分別、保管する等)</li> </ul>	○
産業廃棄物保管基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保管場所に60cm×60cm以上の掲示板の設置</li> <li>・廃棄物の悪臭・飛散防止</li> </ul>	○
産業廃棄物委託基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先の許可の確認</li> <li>・委託契約の締結</li> <li>・契約書の5年保管</li> </ul>	○
産業廃棄物管理票 (電子マニフェスト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子マニフェストの新規登録</li> <li>・廃棄物排出日を含む4日以内に情報登録</li> <li>・運搬・処分業者の承認登録</li> <li>・情報の確定</li> </ul>	○
産業廃棄物管理票に関する報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年6/30までに前年度の交付状況を知事に報告</li> <li>・多量排出業者は知事へ産業廃棄物実子報告書・処理計画書の提出</li> </ul>	○
実地の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者運搬又は処分施設の実地確認とその記録(5年間)</li> </ul>	○
投棄の禁止		○
焼却の禁止(廃棄物処理基準に従う場合は除く)		○
小山町廃棄物処理(一般廃棄物の分別搬出)		○
騒音規制法・静岡県生活環境の保全に関する条例		
騒音・振動規制法 (土木工事)	特定地域での特定建設作業の届出 (小山町への提出・作業日・規制時間の厳守)	○
建設リサイクル法		
《該当工事》 請負代金の額が500万円以上の建築物以外の工作物に関する工事(土木工事)		
分別解体及び特定建設資材の再資源化必要		○
《特定建設資材》		
1 コンクリート	3 木材	
2 コンクリート及び鉄からなる建設資材	4 アスファルト・コンクリート	
受注者又は自主施工者としての実施義務(関連文書は5年関係保管)		○
その他・リサイクル法		
家電リサイクル法	指定業者へ処分依頼	○
PCリサイクル法	指定業者へ処分依頼	○
容器包装リサイクル法	分別の徹底	○

浄化槽法		
浄化槽の設置・廃止(30日以内)等の届出		○
公共用水域等の水質の保全(水質基準:BOD20mg/L以下)		○
第7条 法定検査(設置後の水質検査/使用開始後3ヶ月以上5か月以内)		○
第10条 保守点検(年4回実施/実施記録の3年保管)		○
第10条 浄化槽清掃(年1回実施/実施記録の3年保管)		○
第11条 法定検査(年1回実施/実施記録の3年保管)		○
フロン排出抑制法		
メーカー点検及び簡易点検(3ヶ月に1度の点検)の実施と記録(重機2台該当)		○
建設業法		
主任技術者の配置	工事現場に配置すべき、金額、要件に適した技術者	○
監理技術者の配置	工事現場に配置すべき、金額、要件に適した技術者	○
監理技術者の専任	工事現場に配置すべき、金額、要件に適した技術者	○
建設業許可の更新	許可の種類ごとの5年更新	○
道路交通法		
安全運転管理者の選任		○
安全運転管理者講習受講(年1回)		○
運転前後のアルコールチェック		○
記録の保存		○
建築基準法・道路法・上下水道法・河川法		
工事基準の遵守	各種申請手続きの適正処理、工事基準の遵守	○
その他		
オフロード法	排ガス規制重機の使用・アイドリングストップ・急加速急発進等	○
グリーン購入法	環境物品の優先購入・材料の提案	○
循環型社会形成推進法	3Rへの努力	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置(自治体施策への協力)	○

### 訴訟などの有無

今年度、関係期間からの指摘、利害関係者、近隣住民からの訴訟等は、ありませんでした。

## 8. 代表者による全体評価と見直し・指示

実施日 令和 6 年 12 月 7 日  
実施者 室 伏 良 太

### 1) 全体評価と見直し・指示のための個別評価

今期の取組状況確認	項 目		確認	必要に応じて評価コメント記載
	1	エコアクション 21 文書	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>	
	8	その他( )	<input checked="" type="checkbox"/>	:

### 2) 全体評価と見直し結果

今期全体の評価と見直し指示	全体評価	環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等	CO2 排出量は大幅に増加したが、大型重機の 1 時間当たりの軽油使用量が減少した事は大きな成果だった。引き続き二酸化炭素排出量削減意識を高めるよう啓発していく。			
	見直し指示内容	項 目	見直しの必要性		「有」の場合の指示内容等	
		1	環境経営方針	有	無	
		2	環境経営目標・計画	有	無	令和 5 年度を基準に環境目標を設定
		3	環境経営計画・取組項目	有	無	
		4	環境に関する組織	有	無	
		5	その他のシステム要素	有	無	
		6	その他(外部への対応等)	無	無	

## 次年度からの環境経営目標

環境方針に基づき、令和5年度を基準に環境目標を設定し行動します。

- 1). CO<sub>2</sub> 排出量の削減 CO<sub>2</sub> 総排出量は令和9年度までに3%削減  
 事務所系は、令和9年度までに3%削減  
 重機の燃費は、平均 5ℓ/hr 以下の維持・燃費管理・実績の把握
- 2). 廃棄物排出量の削減 一般廃棄物は排出量が少ない為、維持と把握  
 積極的な 3R(リデュース・リユース・リサイクル)への取り組み  
 混合廃棄物は、工事内容で変わる為、削減を心がけ分別と実績の把握  
 建設副産物(コンクリート殻アスコン殻木くず)は 100%の為、現状維持
- 3). 水使用量削減事務所系は、節水に努め 50 m<sup>3</sup>以下を維持と実績の把握
- 4). グリーン購入の推進 事務所系は現状維持  
 建設機械更新時は環境配慮型へ切り替え
- 5). 地域に迷惑をかけない 苦情件数“零”  
 安心安全な工事

### 中期環境目標

環境目標項目	単位	ベンチマーク	環境目標値		
		R5年度	R6年度	R8年度	R9年度
CO <sub>2</sub> 総排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	115,813	114,655	113,508	112,373
CO <sub>2</sub> 排出量削減 (事務所)	kg-CO <sub>2</sub>	7,414	7,340	7,267	7,194
(事務所・購入量)	kwh	2,358	2,334	2,311	2,287
(事務所・車両平均燃費)	km/ℓ	15.23	維持・管理		
CO <sub>2</sub> 排出量削減 (現場/重機の燃費)	ℓ/hr	3.76	平均 5ℓ/hr 以下維持・管理・実績の把握		
一般廃棄物排出量削減	kg	107.72	維持・実績の把握		
産廃(混合廃棄物)	t	8.32	分別と実績の把握		
産廃(建設副産物)	%	100	リサイクル率 100%		
水使用量削減	m <sup>3</sup>	39	60 m <sup>3</sup> 以下を維持・実績の把握		
グリーン購入の推進	—	100%	現状維持		
	—	100%	建設機械更新時は環境配慮型へ切り換え		
安全安心な工事	件	苦情「零」	苦情「零」		

※二酸化炭素排出係数・0.376 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (東京電力エナジーパートナー/令和4年度実績調整後排出係数)

※現場の二酸化炭素削減目標は工事の内容で大きく変わる為燃費管理も実施

※事務所総排出量は、電力、ガソリン・灯油

※事務所におけるグリーン購入はほぼ達成できている。